

- 車の健康状態のチェックポイント…………… 8
- 安全・快適なカーライフのためのチェックポイント…… 10
- オートマチック車の正しい運転のしかた…………… 17

車の健康状態のチェックポイント

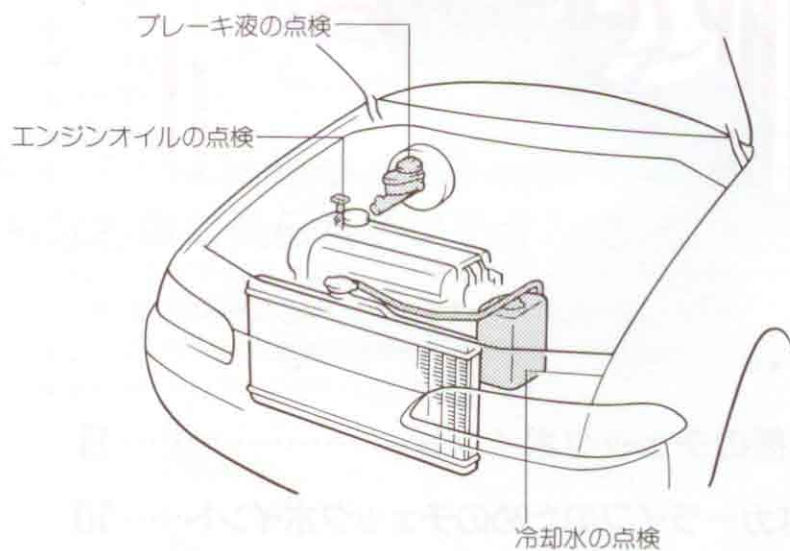
エンジンルームをのぞいたり、
車のまわりをまわったりして、
車の健康状態をみます。



1

まずはボンネットを開けてみよう！

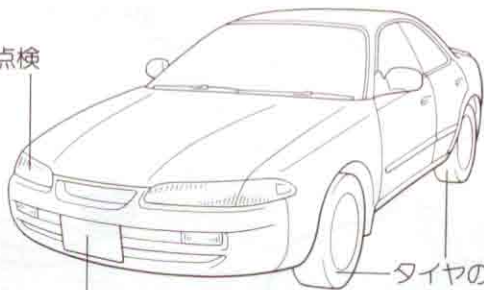
点検方法は「整備手帳」をご覧ください。



2

車のまわりをまわりながら

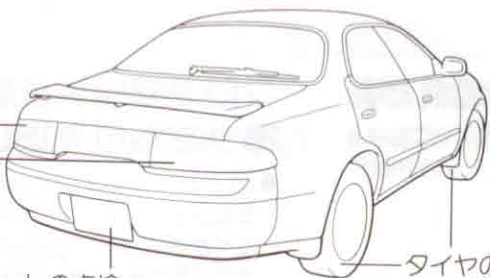
ランプ類の点検



タイヤの点検

ナンバープレートの点検

ランプ類の点検



タイヤの点検

ナンバープレートの点検

ランプ類、ナンバープレートの点検

- 著しいはごれや損傷がないかを点検します。
- ランプ類については点灯または点滅するかを点検します。

タイヤの点検

● 空気圧

- タイヤの接地部のたわみ状態をみて、空気圧が適当であるかを点検します。

- 空気圧は運転席側ドアを開けたボデー側に貼られている「タイヤ空気圧」の表を参照してください。



適正



過多



不足

- 亀裂、損傷
- 異物のかみ込み
- 異状な摩耗
- タイヤの溝の深さ



空気圧が低いまま高速走行を続けるとバースト(破裂)するおそれがあります。
 空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。



注意

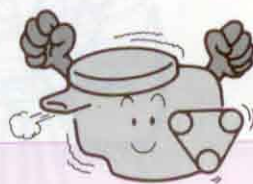
安全・快適なカーライフのためのチェックポイント

シート、ハンドル、ミラーを調整し、シートベルトを正しく着用

●32ページを参照してください。

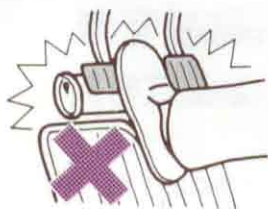
暖機は水温計の指示が動き出す程度で十分

●暖機中は極端にアクセルペダルをおおらないでください。



運転席付近に物を置くと危険です

●運転席足元に空缶などの物を置くとブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作ができなくなるなど危険です。



フロアマットは車にあつたものを正しく敷く

●フロアマットはアクセルペダルに引っかからないよう、車にあつたものを正しく敷いてください。アクセルペダルをおおったり、重ねて敷くとアクセル操作のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



こんなときは
トヨタ販売店で点検を

- いつもと違う音や臭いがするとき。
- ブレーキ液、クラッチ液が不足しているとき。
- 地面に油が漏れたあとが残っているとき。

TOYOTA



車庫内ではエンジンをかけたままにしない

- ガス中毒の危険があります。
- やむをえない場合は必ず換気を十分してください。



燃料がはいった容器やスプレー缶などは積まない

- 引火の危険があります。



燃料は指定のものを補給

- 無鉛ガソリンを補給
 - 有鉛ガソリン、粗悪ガソリンは車に悪影響をあたえますので、いれないでください。
 - Gは無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)仕様車です。ガソリンは無鉛プレミアムガソリンを使用してください。
- 万一、無鉛プレミアムガソリンが入手できないときに無鉛レギュラーガソリンを使用されても、通常走行には支障はありませんが、エンジン性能を十分に発揮できないことがあります。

違法改造は絶対にしない

- 車の性能や機能に適さない部品を装着すると、思いがけない事故が発生する場合があります。
- トヨタが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 次のような場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - タイヤ、ディスクホイールの交換。
異なった種類や指定以外のものを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼすことがあります。
 - 電装品、無線機などの取り付け、取りはずし。
故障や火災など思わぬ事故の原因になります。
- エアバッグ付き車は、正しく取り扱わないと不意の作動による事故やケガを起こすおそれがありますので、下記の項目を厳守してください。
- ハンドルの取りはずしや他の車両への取り付けは絶対にしない。





新車時はとくにひかえめな運転を

- エンジンをいたわる気持ちが長持ちの秘訣です。

お子様を乗せるときの注意

お子さまはリヤシートに

- 万一のときリヤシートの方が安全です。また、助手席ではお子さまの動作が気になり安全運転のさまたげになるだけでなく、お子さまが運転装置にふれて思いがけない事故が起きるおそれがあります。



シートベルトを必ず着用

- ひざの上でお子さまを抱いていても、十分に支えることができません。リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトが首やあごに当たる場合や、腰骨にかからないような小さなお子さまはジュニアシート、チャイルドシートを使用してください。なお、チャイルドシート、ジュニアシートについてはトヨタ販売店にご相談ください。

〈選択の目安〉

	年齢	体重(kg)
チャイルドシート	6か月~4才	7~16
ジュニアシート	4才~10才	15~32

- 助手席に乗せるときも、必ずシートベルトを着用するかチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。

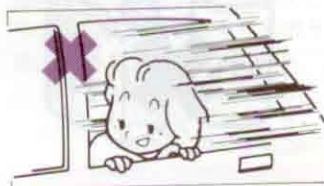
ドア、ウィンドウ、ルーフなどは必ず大人が操作

- 手や顔などをはさまないように注意してください。
- ウィンドウロックスイッチもあわせてお使いください。(27ページ)



- チャイルドプロテクターもあわせてお使いください。(25ページ)

窓やルーフなどから手や顔を出さない



車から離れるときは、お子さまを車内に残さない

- 炎天下の車内は高温となり危険です。
- いたづらにより思わぬ事故がおきるおそれがあります。



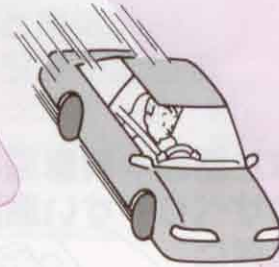
走行中はエンジンを切らない

- エンジンがかかっていないと
 - ブレーキの効きが悪くなる。
 - 警告灯が作用しなくなる。
 - ハンドル操作が非常に重くなる。
 - LOCK位置にすると
 - キーが抜けることがあり、ハンドルが切れなくなる。
- など危険です。



下り坂では エンジンブレーキを併用

- ブレーキペダルを踏み続けると、過熱によりブレーキの効きが悪くなる場合があります。
- エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことです。低速ギヤにいれるほどよく効きます。



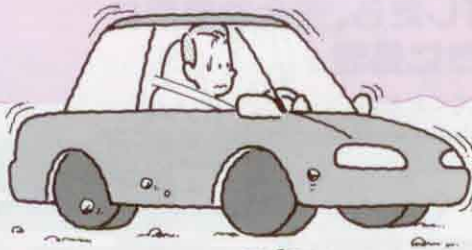
洗車後や水たまり走行後は、 ブレーキの効き具合を確認

- ブレーキペダルを軽く踏んで確認します。
- 効きが悪い場合は、効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキの湿りをかわかしてください。

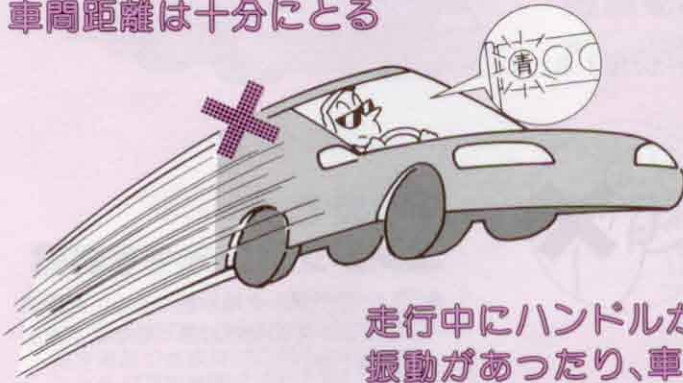


車体床下に強い衝撃を受けたら、下まわりを点検

- すぐ車を止めてブレーキ液や燃料などの漏れ、損傷がないことを確認してください。



急発進、急ブレーキはさける 車間距離は十分にとる



走行中にハンドルがとられたり、異常な振動があったり、車両が傾いたときはパンクやパースト(破裂)が考えられます。あわてずに対応を

- ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけてスピードを落とします。
- 急ブレーキはハンドルをとられることがあり危険です。

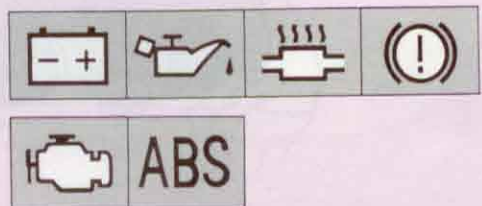
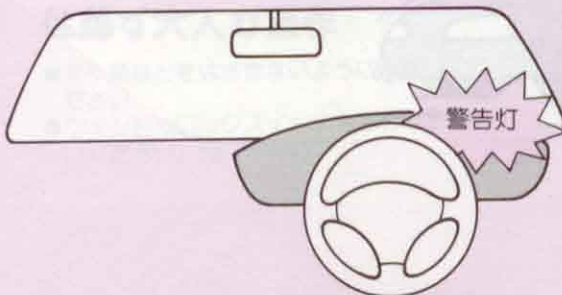
ぬれた路面や積雪路、凍結路などのすべりやすい路面での走行は慎重に

- とくに雨の降りはじめには注意してください。
- 急激なエンジンブレーキはさけてください。



警告灯が点灯したら、安全な場所に停車し、ただちに処置

- 113ページを参照してください。





車庫入れ時などでハンドルを いっぱいにもわした状態を 長く続けない

- オイル潤滑不良をおこし、ポンプを損傷するおそれがあります。

車から離れるときは、 エンジンを止め必ず施錠

- 車内に貴重品を置いたままにしないでください。

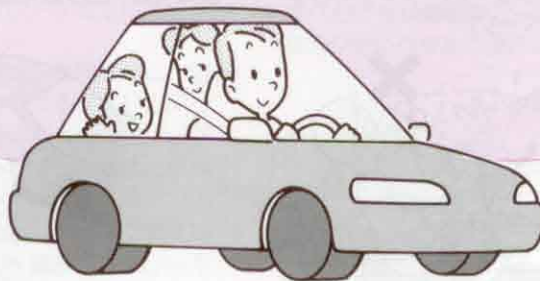
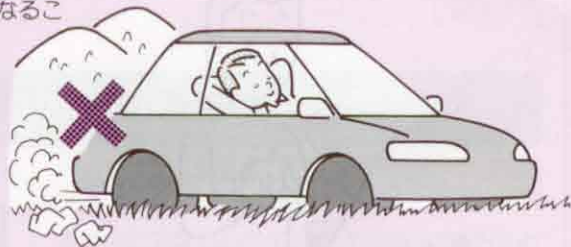
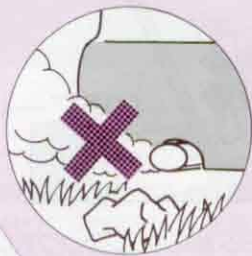


可燃物に注意

- 車両後方や排気管付近に燃えやすいものがないかを確認してください。
- 枯れ草や紙くずなど燃えやすいものの上を走行、駐停車しないでください。
排気管や排気ガスは、エンジンを空ふかしたり、高回転を長く続けたりした場合には高温になることがあり、可燃物があると危険です。

仮眠するときは、 必ずエンジンを止める

- 無意識にチェンジレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故をおこすおそれがあります。



ゆとりをもち、常に安全運転を

こんな点にも細心の注意を！

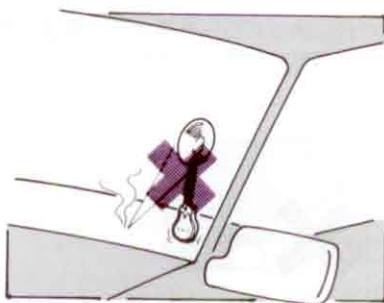
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にある場合は、車両後端を30cm以上離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、万一の場合着火する危険があります。



- 灰皿を使用したあとは、マッチ、タバコの火を確実に消し、必ず閉めておいてください。



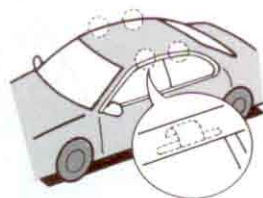
- 窓ガラスなどには吸盤をつけないでください。吸盤がレンズの動きをして、火災など思わぬ事故の原因になります。



- ラジエーターキャップが熱いときははずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出し危険です。冷却水の点検は、リザーバタンクで行ってください。(8ページ)



- このフックはトヨタ純正ルーフラック取り付けようです。ルーフラック取り付け時以外は使用しないでください。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

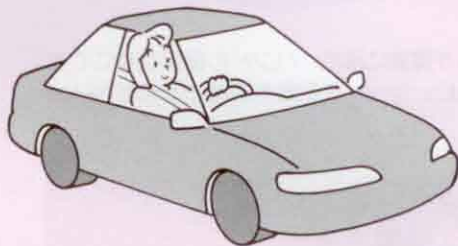


オートマチック車の正しい運転のしかた

56ページの「オートマチックトランスミッション」もあわせてお読みください。

オートマチック車は、クラッチとギヤチェンジの操作を自動化したもので、その分運転が楽になります。

しかし、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性をよく理解し、正しく操作する習慣をつけてください。



オートマチック車の特性

クリープ現象

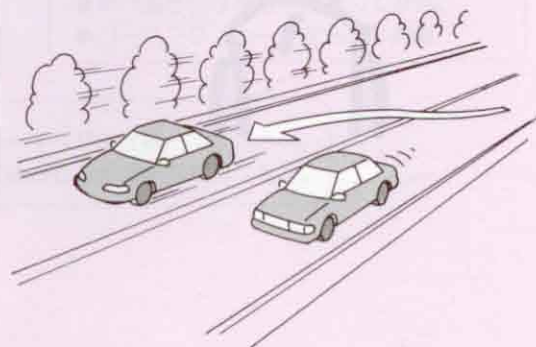
エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがP/N以外の位置にあると、動力が繋がった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆつくりと動き出す現象をいいます。

- 停車中は、平坦路であっても車が動かないように、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動時やエアコン作動時などに、自動的にエンジンの回転が上がるアイドルアップ時には、クリープ現象が強くなるため、ブレーキペダルをよりしっかりと踏むことが必要です。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調整するとスムーズに行えます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越し時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。
- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作はさけてください。



運転のしかた

エンジンをかける前に

- 1 正しい運転姿勢をとる。

ペダルが確実に踏み、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。

- 2 アクセルペダルの位置を確認。

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。



エンジン始動

詳しくは55ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。

- 1 パーキングブレーキを確認。

- 2 ①の位置を目で確認。

①の位置でも始動できますが、安全のため車輪が固定される②の位置で行ってください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏む。

- 4 エンジン始動。

発進

1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏んだまま。

チェンジレバーを①や③にいれると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。発進時のレバー操作は、ブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行ってください。

エンジン始動直後やエアコン作動時などアイドルアップしているときは、車が動こうとする力がとくに強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

2 チェンジレバーを前進は①、後退は②にいれる。

レバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行ってはいけません。車が急発進し、思わぬ事故の原因につながります。

3 チェンジレバーの位置を目で確認。

ブレーキペダルは右足で

確実なブレーキ操作をするために、右足でブレーキペダルを踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるおそれがあります。

4 パーキングブレーキをもどす。

5 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み加速。

マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作とアクセル操作を併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

急な坂道の発進

チェンジレバーの位置を目で確認したら、

- まずアクセルペダルをゆっくり踏み、
- 車が動き出す感触を確認してから、
- パーキングブレーキをもどし発進。

運転のしかた

走行

通常走行

チェンジレバーを①のまま走行。

アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速ができます。

急加速

アクセルペダルをいっぱいに踏み込む。

キックダウンし、急加速できます。

上り坂をなめらかに走るには

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がる場合があります。

このようなときは、あらかじめ②にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

走行中は④にしない

チェンジレバーを④にすると、エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因になります。また④で走行しても燃費は変わりません。

下り坂走行

エンジンブレーキを併用

下り坂を①のまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くスピードが出すぎてしまうことがあります。このようなときに、フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

長い下り坂や急な下り坂では必ずエンジンブレーキを併用してください。

チェンジレバーを②にいれて、エンジンブレーキを使います。



オーバードライブ付き車の場合

O/DスイッチをOFFにすることによって、より軽いエンジンブレーキが得られます。高速道路の長い下り坂などで使うと有効です。

急な下り坂

より強いエンジンブレーキが必要な場合は③にいれる。

各シフト位置での上限速度

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン型式 シフト位置	5A-FE	4A-FE	4A-GE
L	60	50	65
2	105	100	120

停車

- 1 ①のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。

エアコンは温度変化により断続的に作動します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリープ現象が強くなりますので、車が動き出さないように、とくに注意してください。

- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかける。

急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。

停車時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーを②に入れる。

停車中の空ふかしは禁物

万一、②③以外にはいていると思わぬ急発進の原因になります。

停車後の再発進

チェンジレバーが②の位置にあることをしっかり確認してから、発進してください。

ブレーキペダルは右足で

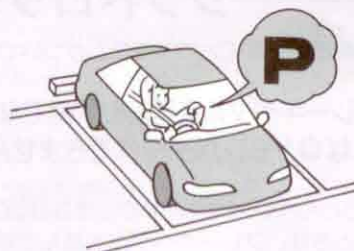
確実なブレーキ操作をするために、右足でブレーキペダルを踏んでください。慣れない左足のブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるおそれがあります。

駐車

- 1 車を完全に止める。

- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを確実にかける。

- 3 チェンジレバーを②に入れる。



②では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーが②の位置にあることを確認してください。

- 4 エンジンを切る。

車を離れるときは必ずエンジンを切ってください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーが②以外にはいていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。



アドバイス

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしましょう。
- 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキ操作が確実にできるよう注意してください。
- 少し後退したあとなどはRにいられたことを忘れてしまうことがあります。後退したあととすくNにもどすよう習慣づけましょう。
- 切り返しなどでDからR、RからDと何度もレバー操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。また、シフト位置も忘れずに確認してください。

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でDのままアクセルをふかしながら止まってははいけません。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。
- 車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーをPに入れるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。



シフトロックシステムについて

この車にはシフトロックシステムがついています。よく理解して正しい操作にお役立てください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でなければPからレバー操作できません。

- エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
- チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

P以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。

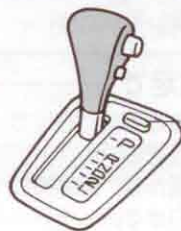
- エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーをPに入れてください。
(P以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)

Rにしているとブザーが鳴ります。

- ブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。
- 車外の人には音は聞こえませんがご注意ください。

■万一、Pからレバー操作できないときは

- ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトロック解除ボタンを押すとレバー操作できます。
- シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。



シフトロック解除ボタン



運転するまえに

各部の開閉……………24

ドア 24

パワーウィンドウ 26

ムーンルーフ 28

トランク 29

フューエルリッド 30

ボンネット 30

各部の調整……………32

フロントシート 32

ハンドル 34

ミラー 35

シートベルトの着用……………38

ELR付き(緊急時固定式)
3点式シートベルト 38

長さ調整式2点式シートベルト 39

運転するときに

メーター、警告灯

マルチインフォメーションディスプレイ

の見方……………41

メーター 42

警告灯 44

マルチインフォメーションディスプレイ 46

視界の確保……………50

ライトスイッチ 50

方向指示レバー 50

フォグランプスイッチ 51

非常点滅灯スイッチ 51

ワイパー & ウォッシャースイッチ 52

リヤウィンドウデフォグスイッチ 53

運転装置……………54

エンジンスイッチ 54

パーキングブレーキ 55

マニュアルトランスミッション 56

オートマチックトランスミッション 56

4輪ABS 59

SRSエアバッグ 60

快適空間のために

空調……………62

オートエアコン 63

ヒーター 66

オーディオ……………68

オーディオの上手な使い方 68

アンテナ 68

オーディオ 69

室内装備……………82

室内灯 82

スポットライト 83

時計 84

グローブボックス 85

シガレットライター 85

灰皿 86

コンソールボックス 86

小物入れ 86

ラゲージスペース……………87